

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 26.10.15 第 187 回国会第 2 号

10 月 15 日（水）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

・塩崎厚生労働大臣、永岡厚生労働副大臣、橋本厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

赤 枝 恒 雄君（自民）

- ・高齢者施設で高齢女性に化粧を施すなどの美容に関する取組は高齢者の自立支援策の一つとして効果があると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・妊娠からの一貫した育児支援策として妊婦健診にメンタルヘルスケアを含める必要があると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

永 山 文 雄君（自民）

- ・団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、医療・介護サービスの提供体制の一体的な改革を進めていくための基本的な視点や今後の方向性について伺いたい。
- ・認知症高齢者にとって、地域全体での支えが重要であるが、国民の認知症に対する理解を深めるためにどのような取組を行っているか。また、我が国の認知症に対する取組をどのように世界に発信するのか。

古 屋 範 子君（公明）

- ・大阪泉南アスベスト訴訟最高裁判決について、一日も早い全面解決に向けた厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・災害医療におけるトリアージについて、判断に誤りがあった場合の責任追及等のおそれがあり、法整備が必要であるとの意見に対する厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・iPS細胞（人工多能性幹細胞）を活用した創薬や再生医療の普及促進に向けた厚生労働大臣の見解を伺いたい。

中 根 康 浩君（民主）

- ・介護従事者の処遇改善への取組に向けた厚生労働大臣の決意を伺いたい。
- ・介護従事者の処遇改善や人手不足解消のためには、平成27年度に実施が予定されている介護報酬のプラス改定が必要との意見に対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・平成26年10月8日に開催された財政制度等審議会財政制度分科会における、平成27年度の介護報酬改定について

6%程度の報酬減額が必要との意見に対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。

大 西 健 介君（民主）

- ・松山市における特別養護老人ホームの職員不足による部分開業について、厚生労働大臣の秘書から、法令解釈その他について、厚生労働省に接触したのは問題ではないか。
- ・労働者の権利を擁護すべき厚生労働大臣が大臣補佐官に経済同友会出身者を任命したことは、一方に偏ることになり問題ではないか。

長 妻 昭君（民主）

- ・特別養護老人ホームの職員不足による部分開業の可否について、判断基準は法律事項ではなく市の裁量であると理解していたにも関わらず、厚生労働大臣の事務所から厚生労働省に問い合わせた理由は何か。
- ・年金積立金の運用における「国内債券並みのリスクの維持」等の方針を、厚生労働大臣として変更する考えはあるか。
- ・年金積立金の運用に関する閣僚の発言等が株価に度々影響を与えていると見受けられることから、市場への影響に配慮するため、厚生労働大臣から閣僚には発言を慎むよう注意喚起することが必要ではないか。

清 水 鴻一郎君（維新）

- ・厚生労働大臣として我が国の社会保障制度を守っていくことに対する決意を伺いたい。
- ・地域医療構想策定に当たって、医療機関は病床機能を選択する必要があるが、「高度急性期」と「急性期」の区分が分かりにくいとの指摘に対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・全国の災害拠点病院の適格性に関する実態調査を速やかに行うべきではないか。

浦野靖人君（維新）

- ・現在、10桁である児童相談所全国共通ダイヤルの3桁化に伴い、児童虐待の通報を促進するため、通話料を無料化すべきと考えるが、厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・現在検討されている社会福祉法人制度改革の内容と、社会福祉法人の内部留保の望ましい在り方に対する厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・大阪泉南アスベスト訴訟最高裁判決を踏まえ、全面解決のための政治判断をする考えはないか、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

重徳和彦君（維新）

- ・保育サービスや事業所内保育施設の現状と充実に向けた取組状況について厚生労働大臣に伺いたい。
- ・職務給的な考え方による働き方と長時間労働の改善について、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・N分のN乗方式等の大家族優遇税制、第3子以降の児童手当の増額といった税制面、財政面の子育て支援策に対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。

今村洋史君（次世代）

- ・非課税とゼロ課税の違い及び保険診療に対して消費税が非課税となっている根拠について伺いたい。
- ・消費税率引上げによる医療機関等のコスト増については現在診療報酬の上乗せにより対応しているが、その財源として本来社会保障の充実に充てられるべき消費税を用いるのはおかしいのではないか。
- ・消費税率10%への引上げ時には保険診療に消費税の負担が生じない仕組みを医療界は要望しているが、これに対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。

宮沢隆仁君（次世代）

- ・ノバルティス社におけるディオバン錠の虚偽広告問題及び副作用報告漏れへの厚生労働省の直近半年間の対応について伺いたい。
- ・臨床研究における医師と製薬企業との金銭的な関係が依然として存在している中で、今後どのような方法で透明性を高めていくのか。
- ・ノバルティス社に係る一連の事態を踏まえ、臨床研究の信頼を回復するため、今後どのように臨床研究制度の在り方を検討していくのか厚生労働大臣に伺いたい。

中島克仁君（みんな）

- ・医療費が増え続ける要因について、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・医療費の効率化のためには、ゲートキーパー機能を持った家庭医を導入し外来機能の分化を行うべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・自由開業医制や出来高払い制を初めとした従来の仕組は医療費が増加する要因となっているため、見直すべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

高橋千鶴子君（共産）

- ・政府が企業の大株主になると利益相反のおそれがあるとの指摘や年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が直接運用するとインサイダー投資の直接的な主体になりかねないとの指摘に対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・公的年金の運用を株価対策に利用すべきではないと考えるが、厚生労働大臣も同様の認識であるか伺いたい。
- ・少なくとも基礎年金にマクロ経済スライドを発動すべきではないとの意見に対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。

2 参考人出頭要求に関する件

- ・厚生労働関係の基本施策に関する件（危険ドラッグ対策）について、参考人から意見を聴取することに協議決定しました。